



放射能対策で申し入れる日本共産党都議ら＝1日、都庁

全都有施設で実施を

放射能測定・除染 党都議団が要請

日本共産党東京都議団は1日、すべての都有施設で放射線量測定・除染を行うことなどを都に申し入れました。

都が行った東部地域の都立公園3園の放射線量測定で、最高毎時7・06マイクロ(地上1メートル)を検出するなど、毎時1マイクロを超える「ミニホットスポット」

「ト」が明らかになりましたが、都は立ち入り禁止にしています。

文部科学省のガイドラインの「地上1メートルの空間線量が周辺より毎時1マイクロ以上になる地点はなく、距離による減衰が認められた」ことを理由に、「全都有施設全般にわたる調査や経常的な調査は基本的に

不要」であるとしています。申し入れて、かち佳代子都議は、文科省も子どもが多く利用する場所では地表近くの地点での値を除染の判断基準の参考にするように呼びかけており、都内の多くの自治体が独自基準を設けて除染をしていると指摘。①全

ての都有施設で測定・

除染を行うこと②希望する都民には都敷地内の測定を許可し、高い値を測定した場合は都が除染すること③費用は東電や国に請求することなどを求めました。

大野輝之・環境局長は「検討します」と答えました。

都議らが「なぜ多くの人を利用する公園(の高線量地)を除染しないのか」などと追及すると、大野局長は「(時間的な減衰をみる)実験をしている」と述べました。